

プレスリリース

平成30年4月25日  
公益社団法人国土緑化推進機構

## 第28回「みどりの文化賞」受賞者の決定について

公益社団法人国土緑化推進機構は、第28回「みどりの文化賞」受賞者を以下のとおり決定いたしました。

「みどりの文化賞」の表彰は、来る5月12日（土）、イイノホールで開催する第28回森と花の祭典「みどりの感謝祭」式典において行います。

「みどりの文化賞」受賞者には、

- ア みどりの感謝祭名誉総裁の表彰状
- イ 公益社団法人国土緑化推進機構会長の賞牌・副賞が授与されます。

受 賞 者                    さとう せいたろう  
                                 佐藤清太郎氏

受 賞 者                    特定非営利活動法人  
                                 森のようちえん全国ネットワーク連盟  
                                 (理事長 内田幸一氏)

問合わせ先： 公益社団法人国土緑化推進機構  
担当： 中 井 電話 3 2 6 2 - 8 4 5 7

# 第28回みどりの文化賞

## ～ 森が育む幼児の力 ～



受賞者

佐藤清太郎氏

秋田森の会・風のハーモニー代表

- 1 佐藤清太郎氏は、秋田スギの特色を活かした長伐期良質大径生産を主軸とした秋田県を代表する森林経営者の一人であり、平成3年に秋田県指導林家に認定され、後継者等への技術指導・普及等に力を入れてきている。また「森林管理コストを抑えるための3本巢植技術・環境順応造林法」等が高い評価を得て、平成5年の第32回全国林業推奨行事（農林水産祭参加表彰行事）において農林水産大臣賞を受賞している。

平成3年の19号台風被害を受けてからは、森の声を聞きながら森と仲良くする「森との共生」を実現するため、自然災害に強く、生態系にやさしい多様な森林づくりを目指し、従来の林業経営とは違う「豊かな森を未来に伝える」森林経営という視点で所有山林の管理を行っている。

- 2 一方で、氏の活動は森林経営のみにとどまらず昭和50年代前半から地元小学生、保育園児、地域住民等へ所有山林を開放し、森林・林業体験などを実施してきた。さらに、平成3年には、「秋田森の会・風のハーモニー」を設立し、所有山林約120haの一部約30haを「健康の森」と名付け会員に開放した。

この会は、「森林と健康」をテーマに、森林浴や自然観察、森林・林業体験を通じて、子供から高齢者まで幅広い年齢層の人々が森との交流活動を行うことにより、心と体の健康、森の

健康について考え、森と人とのふれあいを深めながら、優しく豊かな生活感の実現と森との共生を目的としている。発足当初の会員数は14人であったのが、現在は約300人に増え、会員の職業、年齢も多種多様となっている。

- 3 さらに氏は、子どもたちの生きる力を育む「森の保育園」の実践を通して、「森で遊んで森を知る」、「森を育てる 人を育てる」ことの大切さを伝えている。現在、秋田県内の幼稚園・保育園21施設から延べ3,000人の子どもたちが、雨の日も雪の日も訪れてくれる「にぎやかな森」となっている。氏が進める「森の保育園」は、今は各地に広がりつつある「森の幼稚園」などの草分け的存在である。「健康の森」は、さらに青少年育成や森林環境教育など、森林や自然の営みを体験できる森としても高く評価されている。

#### (経歴)

昭和19年 秋田県生まれ  
昭和55年 秋田県林業士  
昭和55年 (社)秋田県林業後継者会議理事  
昭和58年 (社)秋田県林業後継者会議会長  
昭和58年 秋田県林業研究グループ連絡協議会理事  
昭和63年 秋田県林業改良普及協会理事  
平成03年 秋田県指導林家  
平成03年 「秋田森の会風のハーモニー」代表幹事  
平成06年 秋田県林業普及指導協力員  
平成11年 (財)秋田県林業公社理事  
平成12年 秋田県森林審議会委員

#### (受賞歴等)

昭和63年 第35回林業技術コンテスト林野庁長官賞  
平成04年 第26回秋田県林業経営コンクール(経営の部)知事賞  
平成05年 第32回全国林業推奨行事農林水産大臣賞  
平成07年 第13回朝日森林文化賞(代表幹事の森林経営)  
平成16年 秋田県知事感謝状(指導林家の功績)  
平成17年 青少年育成秋田県民会議表彰  
平成17年 秋田県知事賞(森林環境保全活動)  
平成17年 NHK地球大好き環境コンテスト審査員特別賞  
平成18年 (財)国際ソロプチミスト日本財団顕彰環境貢献賞  
平成20年 緑化功労者農林水産大臣表彰(第59回全国植樹祭)  
平成25年 第59回伊勢神宮新穀感謝祭 功績顕彰

# 第28回みどりの文化賞 ～ 森が育む幼児の力 ～

## 受賞者

### 特定非営利活動法人

### 森のようちえん全国ネットワーク連盟

(代表理事 内田幸一)

- 1 本団体は、平成17年から「森のようちえん全国交流フォーラム」を開催していた主催者が中心となり、各地で自然発生的に始まった活動の情報交換、実施方法のレベルアップ、指導者や保育者の育成を目指して平成20年に任意団体として結成された。現在は全国で200以上の会員団体が活動しており、平成29年4月に特定非営利活動法人として認証された。
- 2 「森のようちえん」の取組は、1950年代にデンマークで始まり、1980年代以降北欧やドイツで急速に広まった。日本では平成12年ころから民間の事業として環境教育関係者や熱心な父母の自主的な活動として始められた。一般的な施設型の幼稚園と異なり、子供たちを森の自然の中で過ごさせ、心と体の発達を促そうというものである。子供に自由に行動させる自主性を尊重する方法が、自立能力、コミュニケーション能力に優れた子供を育てるとして、父母や関係者に高く評価されている。今では、行政の支援も広がりつつある。
- 3 活動の基本である「森のようちえん全国交流フォーラム」は、平成17年の初開催以来、毎年日本各地で行われ、平成29年には第13回のフォーラムが東京都で開催された。同フォーラムは、有識者による講演や対談、分科会、全体会等を行うことで、これからの森林・自然を舞台にした幼児教育・保育・子育て支援の実践のあり方から制度・政策などについて議論を深め、幅広く交流を図る機会を提供するもので、毎年数百名が参加している。
- 4 「森のようちえん指導者養成研修会」では、子育て・幼児教育に興味のある者を対象とした研修や講座等を行い、森のようちえんの考え方を広めるとともに、交流の機会を設けている。また、「森のようちえんカフェ」では、親子を対象とした森林体験イベント等を開催している。
- 5 平成27年には、全国で森のようちえんの活動を取り入れている179施設を対象とした実態調査を行う等、森のようちえんの一般化に向けた取り組みを行っており、森のようちえんの質の担保や社会での地位の確立に向けて日夜精力的に取り組んでいる。



(設立経過)

- 平成 17 年 「第 1 回森のようちえん全国交流フォーラム」開催（宮城県 くりこま高原）
- 平成 19 年 「第 3 回森のようちえん全国交流フォーラム」にて、「森のようちえん全国連絡協議会準備会」発足の意思を確認
- 平成 20 年 「第 4 回森のようちえん全国交流フォーラム」にて、任意団体「森のようちえん全国ネットワーク」設立総会を開催、設立趣旨を確認
- 平成 29 年 「第 1 3 回森のようちえん全国交流フォーラム」開催（東京都）
- 平成 29 年 特定非営利活動法人森のようちえん全国ネットワーク連盟設立